

A Helping Hand

—Comprehensive English for Caregivers—

福祉・介護系学生のための総合英語

Masako Shimizu



NAN'UN-DO

A Helping Hand

—Comprehensive English for Caregivers—

Copyright © 2007

by

Masako Shimizu

All Rights Reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the author and Nan'un-do Co., Ltd.



リスニング・スピーキングの力がつく

A Helping Hand

—Comprehensive English for Caregivers—

福祉・介護系学生のための総合英語

CD 全1枚

収録箇所

各章のCDマークの箇所

まえがき

本書は、福祉・介護を専門とする学生が、その領域の学習に役立つように、また、英語力全般の強化を目的として作成されたものです。

社会構造が大きく変化し、少子高齢社会が現実となった現在、福祉領域において介護と医療へのニーズは強くなる一方です。それに伴って、本来、誰でもが、どこでも行っていた高齢者の介護(ケア)も専門職のケアワーカーに委ねられることが一般的になってきました。人間誰しも早晚必ず死ぬ運命にあるのですが、たとえば一人で苦しみ、誰にも看取られることなく息を引き取るといった悲惨な事例は勿論のこと、人間として人間らしい生活を送ることができない高齢者の存在は、大きな社会問題になってきました。高齢者のQOL(生活の質)と「尊厳ある死を迎える」環境が必要とされています。

けれども、ケアワークの対象は高齢者だけではありません。ケアは、身体的に、精神的に、社会的に不安定な状況に置かれ、自分ひとりでは解決できない不安、心配、苦痛、苦悩を抱えている人(クライアント)の状況・環境を、支援、保護、治療などによってより良くし、解決を目指すことです。ケアは児童・青年・成人・高齢者すべての人々に必要とされている社会サービスです。また、現代のケアは医療と社会福祉のシステムに深く関わっています。その意味でも、ケアワーカーは福祉の中心的な存在と言えます。

このように考えて、私は、本務校(川崎医療福祉大学)の英語の授業でケアワークを教材としました。本書はその教材をより学びやすい形にアレンジしたものです。英語学習に王道はありません。どの教材でも熱心に学べば英語力は身につくはずです。とは言え、より学習者に身近な話題であり、将来の職種に役立つ内容であれば、より効果的であると思われれます。また語学力には、「読む」「書く」「聞く」「話す」という4技能のバランスが求められます。

本書は12のUnitから成り、各Unitは、内容と語学技能の両面を考慮して以下の項目で構成されています。

Reading: ケアに必要なとされる具体的なトピックス

例: 移動, 食事, 排泄, 入浴介助, 身づくろい, レクリエーション活動, コミュニケーション, 児童のサポート, 在宅援助

Exercise: 語彙習得・内容理解

Dialogue: ケアワーカーとクライアントの会話

Vocabulary: 語彙力を強化するために、「場面に必要な英語」の紹介

Practice: 実際の場面に必要な器具の名称や語彙

Column: 英語をより楽しむために

また、Appendixを付し、介護と医療に必要なとされる事項・用語(英語・日本語)を掲載しました。

これらが、学習者の専門領域に役立つばかりでなく、英語そのものへの関心に繋がり、さらに発展できるきっかけになることを願っています。

最後に、本書の刊行をお勧めいただきました南雲堂編集部 青木泰祐編集部長には、立案から校正に至るまで大変お世話になりました。なお英文につきましてはJim Knudsenさんの協力を得ましたことを心から感謝申し上げます。

清水 雅子

Contents

まえがき / 3

Unit 1 The Four Keys to Successful Caregiving / 6

Unit 2 Using Mobility and Lifting Aids / 10

Unit 3 Helping People with Meals / 14

Unit 4 Helping People Use the Toilet / 18

Unit 5 Helping People with Their Bath / 22

Unit 6 Helping People with Dressing and Grooming / 26

Unit 7 Helping People Change Their Position / 30

Unit 8 Helping with Recreational Activities / 34

Unit 9 Helping People to Communicate / 38

Unit 10 Helping People Suffering from Disease and Illness / 42

Unit 11 Helping Children to Develop / 46

Unit 12 Helping with Domestic Duties in a Client's Home / 50

Appendix / 54

The Four Keys to Successful Caregiving

2

1. Communication

It is essential that you communicate closely with the people you are taking care of. No matter what you are doing, explain what it is and why you are doing it. Always reassure and encourage your clients in order to put their minds at ease.

2. Observing, recording and reporting

Watch for changes in your clients' conditions. Carefully observe their facial expression, mood, dress, body temperature and weight, eating habits, and level of activity for signs of disease or other problems. Always maintain the highest standards of objectivity and professionalism. Record any changes you observe according to your care agency's directions and report them to your supervisor.

3. Client's privacy and dignity

The people you take care of depend on you for their most private functions—taking a bath, undressing and dressing, and going to the toilet. Whatever you do, take their privacy and dignity into account before anything else. And remember: we are not all the same. Each and every one of us must be respected and treated as an individual.

4. Hygiene

Hygiene is of the utmost importance. When accompanying a client to the toilet or disposing of his/her bodily wastes, always carefully follow the procedure set by your care agency.

Notes

caregiving: 介護, 世話 client: クライアント, 社会福祉サービスを利用する人
 observing: 観察 sign of disease: 病気の兆候 objectivity: 客観性
 professionalism: 専門技術 care agency: 介護部門 supervisor: 指導者, 管理者
 dignity = human dignity: 人間の尊厳 人間に生まれながらにして備わっている価値。
 hygiene [háidzj(:)n]: 衛生

EXERCISES

1. Vocabulary Check

英語に相当する日本語をそれぞれ a ~ j から選びなさい。

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1. caregiving () | a. 尊厳 |
| 2. observing () | b. 活動の程度 |
| 3. objectivity () | c. 専門技術 |
| 4. professionalism () | d. 介護部門 |
| 5. dignity () | e. 介護 |
| 6. supervisor () | f. 衛生 |
| 7. care agency () | g. 指導者 |
| 8. hygiene () | h. 観察 |
| 9. waste () | i. 排泄物 |
| 10. level of activity () | j. 客観性 |

2. Comprehension Check

介護を必要とする人々に接するとき忘れてはならない原則があります。以下のうち、正しいものには○、間違っているものには×を()に記入しなさい。

- () 1. 介護するときクライアントに不要な心配を与えるので、何をする時も理由を説明する必要はない。
- () 2. クライアントを観察する際、専門的で客観的な知識によって判断するべきである。
- () 3. 観察の記録は、自分で工夫したほうがよい。
- () 4. 施設ではすべての人は平等であるから、プライバシーを無視して良い。
- () 5. クライアントの衛生面を介護するときには、施設の基準に従う。

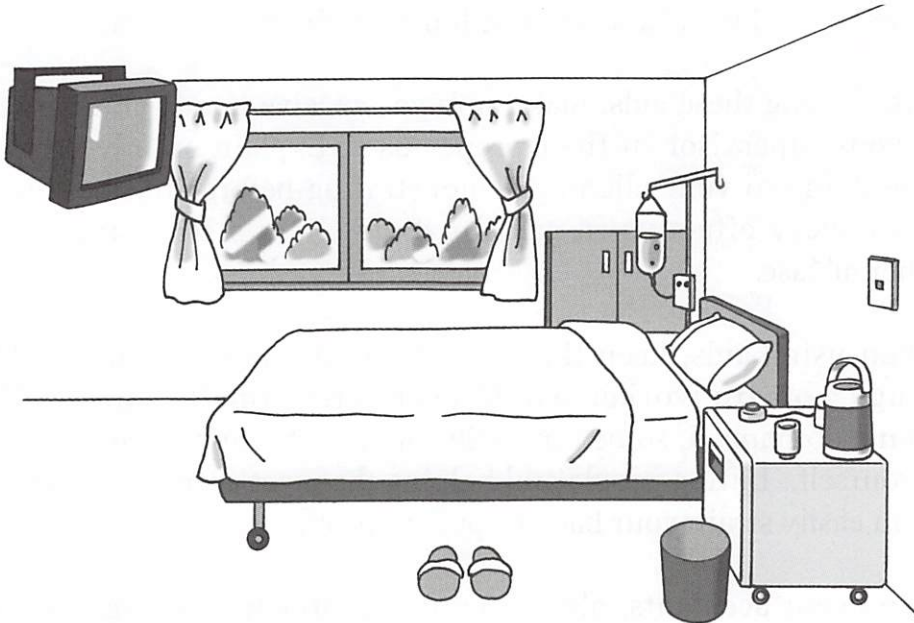
Practice

以下の部屋のイラストで、次の用語を確認しましょう。

bed, pillow, blanket, television, slippers, trash [garbage]box, tea pot, tea cup, refrigerator, closet [locker, wardrobe], light switch, IV [intravenous]

(下記単語はイラストにありませんが付記。)

thermometer, urinal, blood pressure cuff, wash basin, towel, tissue paper, table, telephone



Column

所変われば挨拶 (greeting) 変わる

人は性格や立場によって日常の振る舞いも異なります。けれども、挨拶は社会生活における基本であることは言うまでもありません。

施設でも、「元気ですか」(“How are you doing?”)「気分はどうですか？」(“How do you feel today?”)「おかげさまで。まあまあです」(“Thanks for asking. Not so bad.”)などという挨拶がよく交わされるでしょう。挨拶は人々の生活を円滑にするkey(てがかり)ともなります。

ところで、挨拶は世界中おなじというわけではありません。日本語の決まり文句の「行ってきます。」は、“See you tonight.”(夜、帰宅する場合)，“I’ll be leaving now.”(もう出かけるよ)、あるいは、単に“See you.”，“Bye.”など。「行ってらっしゃい。」も、“See you.”とか、“Bye.”というように言い換えます。あるいは、物騒な世の中です。“Take care.”(気をつけて)と言ったほうがよいかもしれません。

それにしても日本語は時として便利です。仕事が終わった時も、中座する時も、人に問いかける時も、わびる時も「失礼します。」で済むのですから。これを英語で言うとなると、“I must be going now.”，“May I leave now?”，“Excuse me a moment.”，“Sorry to interrupt you, but...”，“Excuse me, but ~”，“I beg your pardon.”，“I am sorry ~”，“Thank you for ~”というように、状況に応じて表現を変える必要があります。さて、日本語は便利なのでしょうか？